

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	とちかちロングトレイルによる農業・商業・工業の活性化		
(2) 実施団体名	特定非営利活動法人 コミュニティシンクタンクあうるず	(3) 対象地域	北海道新得町、鹿追町、清水町、上士幌町、士幌町、音更町、芽室町、帯広市(十勝西部圏域)
(4) 代表団体名	同上	(5) 推薦団体名	北海道新得町

(6)実施した取組の内容	取組①	ロングトレイルによる地域づくりシンポジウムの開催		
	実施主体	主担当:特定非営利活動法人 コミュニティシンクタンクあうるず その他:十勝ロングトレイル制作委員会、十勝管内市町村、北海道		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:「歩いて楽しむ地域システムの提案」をテーマに、有識者からの提言、地域農業者からの期待などを紹介する。 ・実施時期:平成20年～平成21年(夏、冬) ・実施場所:北海道新得町 ・取組の目的:十勝地域における地域資源を活用し、点在する資源を結んで作る「とちかちロングトレイル」を用いて、農村部に人の往来を創出するとともに、安心安全な農産物や農村ライフスタイルへの理解促進を図る。 	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:(社)日本環境教育フォーラム専務理事岡島氏などの有識者を講師に、観光のトレンドと歩く旅のスタイルづくりの意義や魅力等を紹介。 ・実施時期:10月24日(金)・実施場所:北海道帯広市(とちか館) 第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容(予定):信越トレイルクラブ小山氏などの有識者を講師に、十勝の目指すべき方向性について議論。 ・実施時期(予定):2月20日(金) ・取組の結果:第1回シンポジウムにはツーリズム事業者や地域住民等約100名の参加があり、地域への普及啓発を図ることができた。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:西十勝4圏域にて、担い手事業者、自治体担当者らを参集し、資源やルート、受入態勢について検討する。 ・実施時期:平成20年～21年 ・実施場所:新得、清水、鹿追、上士幌の4町とその周辺 ・取組の目的:関係者間で情報を共有し、資源・ルートが分かる「歩いて分かる地域資源マップ」を作成するほか、もてなす技術、公共施設開放の可能性など、旅行者を迎え入れる地域の仕組みについて検討する。 	実際の取組内容及びその結果 <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:西十勝地域(新得、清水、鹿追、士幌、上士幌、芽室、音更)を主対象に4回開催。資源の発掘および活用方向について協議した。 ・実施時期:平成20年10月～12月 ・取組の結果:モデルルートを選定すると共に、課題として2次交通システム、冬季の滞在プログラム作り、魅力ある農産加工品等の発掘と情報発信、ヒグマ事故防止などが挙げられ、その対策等についても協議したほか、先進事例動向について情報を共有するとともに、全国ネットワークへの参加等について議論を深めた。 	
	取組②	十勝ロングトレイル地域ワークショップの開催		
	実施主体	主担当:特定非営利活動法人 コミュニティシンクタンクあうるず その他:十勝ロングトレイル制作委員会		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:アウトドア事業者等によるトレイルルートへの送迎システムや携帯端末を利用した情報提供システム、自治体保有施設への割引入館や完歩者証の発行などの実施方策を検証する。 ・実施時期:平成20年～平成21年 ・実施場所:十勝西部地域 ・取組の目的:事業の本格実施に向けた課題抽出と、トレイルを活用した地域における旅行パッケージプランの作成を行う。 	第1回(10月25日) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:40名が参加し、清水町「十勝千年の森」を拠点に丸山展望台までの約10kmのコースを踏破。 第2回(2月21日予定) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:旅行会社とも連携して積雪期のツアーの可能性を模索。冬ならではの食材や寒と暖を楽しむ北海道の生活文化を生かした魅力あるツアーづくりを実証する。 ・取組の結果:清水町商工会の収穫祭と連携して実施したことで、地域との連携スキームを検証することが出来た。また、自然・文化・歴史を伝えるインタープリテーション手法を用いた事業実施のための課題が抽出できた。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:アウトドア事業者等によるトレイルルートへの送迎システムや携帯端末を利用した情報提供システム、自治体保有施設への割引入館や完歩者証の発行などの実施方策を検証する。 ・実施時期:平成20年～平成21年 ・実施場所:十勝西部地域 ・取組の目的:事業の本格実施に向けた課題抽出と、トレイルを活用した地域における旅行パッケージプランの作成を行う。 		実際の取組内容及びその結果 第1回(10月25日) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:40名が参加し、清水町「十勝千年の森」を拠点に丸山展望台までの約10kmのコースを踏破。 第2回(2月21日予定) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:旅行会社とも連携して積雪期のツアーの可能性を模索。冬ならではの食材や寒と暖を楽しむ北海道の生活文化を生かした魅力あるツアーづくりを実証する。 ・取組の結果:清水町商工会の収穫祭と連携して実施したことで、地域との連携スキームを検証することが出来た。また、自然・文化・歴史を伝えるインタープリテーション手法を用いた事業実施のための課題が抽出できた。 		
取組③	とちかちロングトレイル実験事業			
実施主体	主担当:特定非営利活動法人 コミュニティシンクタンクあうるず その他:十勝ロングトレイル制作委員会、北海道宝島旅行社			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:アウトドア事業者等によるトレイルルートへの送迎システムや携帯端末を利用した情報提供システム、自治体保有施設への割引入館や完歩者証の発行などの実施方策を検証する。 ・実施時期:平成20年～平成21年 ・実施場所:十勝西部地域 ・取組の目的:事業の本格実施に向けた課題抽出と、トレイルを活用した地域における旅行パッケージプランの作成を行う。 	第1回(10月25日) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:40名が参加し、清水町「十勝千年の森」を拠点に丸山展望台までの約10kmのコースを踏破。 第2回(2月21日予定) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:旅行会社とも連携して積雪期のツアーの可能性を模索。冬ならではの食材や寒と暖を楽しむ北海道の生活文化を生かした魅力あるツアーづくりを実証する。 ・取組の結果:清水町商工会の収穫祭と連携して実施したことで、地域との連携スキームを検証することが出来た。また、自然・文化・歴史を伝えるインタープリテーション手法を用いた事業実施のための課題が抽出できた。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:アウトドア事業者等によるトレイルルートへの送迎システムや携帯端末を利用した情報提供システム、自治体保有施設への割引入館や完歩者証の発行などの実施方策を検証する。 ・実施時期:平成20年～平成21年 ・実施場所:十勝西部地域 ・取組の目的:事業の本格実施に向けた課題抽出と、トレイルを活用した地域における旅行パッケージプランの作成を行う。 	実際の取組内容及びその結果 第1回(10月25日) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:40名が参加し、清水町「十勝千年の森」を拠点に丸山展望台までの約10kmのコースを踏破。 第2回(2月21日予定) <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:旅行会社とも連携して積雪期のツアーの可能性を模索。冬ならではの食材や寒と暖を楽しむ北海道の生活文化を生かした魅力あるツアーづくりを実証する。 ・取組の結果:清水町商工会の収穫祭と連携して実施したことで、地域との連携スキームを検証することが出来た。また、自然・文化・歴史を伝えるインタープリテーション手法を用いた事業実施のための課題が抽出できた。 		

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点
(7)実施体制	<p>・NPOあうるず 事業事務局として、事業推進体制づくりや連携団体のコーディネートを担当。外部の有識者らとのネットワークを活用した事業のコンセプトづくりと地域内外への情報提供する。</p> <p>・十勝ロングトレイル制作委員会 アウトドア事業者等中核担い手事業者5社を構成員として、事業の基本スキーム・戦略を検討するとともに、担い手の拡大に取り組む。</p> <p>・ロングトレイル推進協議会 制作委員会を核に、関係市町村および観光連盟、農商工分野の関係団体、企画調査会社、旅行会社、交通関係事業者らで構成。シンポ、イベント、ツアーを実施。</p>	<p>いずれの取組においても、一定の成果を収めたものの、今後の事業推進にあたっては以下の点に留意する必要がある。</p> <p>・取組①シンポジウムでは、民間事業者の参加を促すPR活動や、関心のあるテーマについてのリサーチを継続的に進めていく必要がある。</p> <p>・取組②地域ワークショップでは、相互連携により相乗効果を引き出す仕組み作りにより多くの時間と労力がかかることから先進事例などを参考に、担い手の意識付けや情報提供支援を行っていく必要がある。</p> <p>・取組③実験トレイルでは、北海道内の他地区との連携が不十分であり、今後は情報を互いに共有し、全道、全国レベルの活動として位置付ける必要がある。</p>
(8)取組により得られた成果	○成果1→	ロングトレイル協議会参加人数の拡大(最終150社目標)
		H19 十勝西部圏域中心に5社
		H20(当初予定していた目標) 全十勝地域で50社
		H20(実際に得られた成果)
		<p>・担い手事業者は約40社・団体が参加した。</p> <p>・しかし、ロングトレイル連絡協議会参加については十勝管内全19市町村で支持を得た。十勝も含め地方都市では車がなければ旅行が成立しないとまで言われていたが、ウォーキングブームが起る中で、新たな観光スタイルが必要であるとの課題認識が少しずつ地域に浸透しつつある。</p>
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	○成果2→	モデルルートの策定(最終1000km目標)
		H19 3km
		H20(当初予定していた目標) 100km
		H20(実際に得られた成果)
		<p>・机上プランでは、1,000km以上のルート案検討は一応完了。実験トレイル事業では、2回のツアーを通じて約70kmを踏破(一部による自動車による移動を含む)。ルート延長は短い、作物を語る農家、十勝の暮らしを語る宿人や建築士、食を語る料理人、自然を語るガイド、歴史を語る趣味人などがソフト面からツアーを盛り上げる企画チームのモデルが確立した。また旅行会社も参画し、的確な情報発信によるマーケティングも試行中である。</p>
	<p>・ロングトレイル協議会への参加者は目標50社に対し、アウトドア、食品加工、宿泊関係を中心に約40社となっているが、十勝の観光情報やアウトドアのネットワーク組織と連携したことにより200社以上との連携が図られたことになり上々の成果が達成できたと評価している。</p> <p>・十勝ロングトレイル制作委員会、地域ワークショップ等で、ルート案の基礎検討は完了し、当初予定していた100kmに対し、計画レベルでは1,000km以上、具体的サービスを付帯させるモデルルートで70kmのルートを策定し実験トレイルを開催した。</p> <p>・歩くのに最適な初夏から秋にかけてのオンシーズンにおけるツアーでの検証が不十分であり、次年度に向けた準備と今後の継続的な取り組みが必要となる。一方、冬のツアープランは実績を上げられつつあることから、PR方策を強化し、オフの解消(ホワイトシーズンプログラムの定着)を図ることが必要である。</p> <p>・十勝圏西部から北部にかけてのネットワーク化は順調であったが、南部圏域との連携、東部圏域の資源発掘などがやや手薄になっている。</p> <p>・食の安全・安心への関心が高まる中、十勝管内各地でも農業体験プログラムの散発的な取り組みが行われているが、それらとの連携強化が期待するレベルまで進んでいない。特にNPOあうるずも参画する地場産食材オリジナルレシピ研究開発活動「フードスタジアム十勝」や本別町の豆ブランドづくり「キレイマメ」プロジェクトなどの優れた資源を、ロングトレイル活動と効果的に結びつける手法が確立されていない。食料資源、エネルギー資源の供給基地である十勝・北海道を世界に向けて発信し、リピーターとなりうる十勝ファンを増やすような取組に引き続き努める必要があると考えている。</p>	

(10)平成21年度以降の活動の見込み	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度 ウェブサイトの機能・情報発信能力の強化(コンテンツの充実) 内容:ツアー参加者の感想等を公開し、臨場感のある情報発信に努めるほか、旅行エージェント、地域情報サイトとの相互リンク、携帯対応メルマガの配信などに取り組む。 時期:特に夏のツアーに向けては6月までが勝負の時期である。 目的:十勝の情報を発信したい事業者と探したいユーザーを結びつけ、ツアープログラムに発展させる。 〔活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)〕
	情報提供システム構築	
	ロングトレイル旅行商品本格導入に向けた具体的検討項目	農商工業等多業種コンソーシアムによるトレイルツアープログラムの検討 内容:産業イベント、学術調査や会議、旅行者の個人的記念日など多様な動機付けをツアー企画に効果的に結びつける態勢作りと、トレイルツアーの経済波及効果の調査検討。 時期:平成21年度より3カ年程度 目的:内需・インバウンド観光拡大戦略検討に資する基礎情報とする。 〔活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)〕
	当初提案になし 受入れ体制の強化・拡充	人材の育成および2次交通の充実 内容:コミュニティ・ボランティア・趣味活動等のビジネスモデル化 馬車やヴェロタクシーなど手軽さと魅力を備えた新たな2次交通の検討 時期:平成21年 夏から秋 目的:雇用情勢悪化が深刻化する中、十勝における新産業創出の鍵は、農業地帯の産業・生活様式の観光資源化であり、それをソフト面から担うのが農村生活インタープリターの育成であり、以て雇用機会の拡大に貢献する。 〔活用を希望する制度:上記について地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額500万円)〕
当初提案になし 農林水産業基盤の弾力的活用	用排水路、耕地防風林等の活用について、北海道又は市町村との協議を行う。 内容:観光振興を図る公共基盤として、ルートや拠点としての供用認可や案内板の設置について協議する。 時期:平成21年度より継続的に(1,000kmのルート整備目標達成まで) 目的:日本の食文化を再生させるため、食料自給率向上キャンペーンなどと連携した農山村活性化事業とタイアップしたツアープランの実現 〔活用を希望する制度:平成21年度については特に無し(協議のみを実施するため)〕	

プロジェクト(北海道十勝地域) —NPO法人コミュニティシンクタンクあうるずー

◆主な実施取組の内容◆

実施取組内容・結果

■ロングトレイルシンポジウム

十勝管内の行政関係者、観光関連団体、担い手事業者ら約100人が参加して開催。国民の健康維持増進、青少年教育における自然体験の重要性、食料生産地としての役割などについて意見交換を行った。

2月に第2回を開催予定。全国ネットワークへの働きかけと、農業関係団体等との連携強化や新たな雇用の場の創出をテーマに、今後もNPOならではの発想と機動力で地域を盛り上げたい。



実施取組内容・結果

■実験トレイル

第1弾秋の部では、十勝千年の森を拠点に日高山脈の麓に広がる丘陵地帯の農地を散策するトレイルを実施。景観の単調さを打ち消す演出方法が課題となった。認定証の発行やプレミアム食材の提供などを盛り込む工夫が必要。

2月に第2回を開催。旅行エージェンシーと連携して企画立案し、全国から参加者を募集する。厳寒期でのツアーの魅力と課題を抽出することが狙い。



イベントで盛上げつつ、個人のペースを尊重



旅の食事作りを講師が伝授。地元牛乳で乾杯



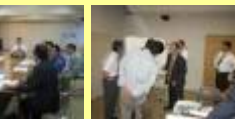
到達感を実感できるルート選定は成功



冬のツアールート検討(現地踏査の状況)



地域ワークショップの開催状況



西十勝における資源分布とルート案



ロングトレイル ウェブサイト

<http://www.netbeet.ne.jp/~owls/longtrail/index.html>

◆取組実施による成果・今後の展開◆

秋の実験トレイルでは、アンケート調査の結果、参加したウォーキング愛好者や家族連れからも高い評価を受け、今後の取り組みに期待を寄せる声が集まった。中には自らのブログサイトでユニークで楽しかったと紹介してくれた人も。参加者は小学生から高齢者まで幅広い年齢層にわたり、ポテンシャルの高さが現われた。シンポジウムの中で複数の有識者が指摘していたとおり、特に子供たちの自然体験プログラムを積極的に実践していくことが必要であり、文科省なども連携した国民的プログラムとしての支援を期待したい。

一方、十勝の担い手側においては、もてなしの心や、時と場の偶然性なども意識したドラマ創りの意識を持つことによって、着実に十勝ファンを増やしていく取り組みの重要性について認識が広がりつつある。今後さらに多くの人の支持を得て一層元気な十勝に発展させるために、十勝らしさとして食とライフスタイルの魅力を伝える演出を工夫するツアースタイルを確立していきたい。